

志木市庁舎及び市民会館複合化施設建設基本計画検討委員会

【 第4回 要旨記録 】

開催日時	平成26年12月1日（月） 午後6時30分～午後8時30分	
場 所	志木市庁舎 3階 301、302会議室	
出席者	委 員	倉田委員長、松下副委員長、吉川委員、鈴木委員、抜井委員、谷合委員、市之瀬委員、近藤委員、濱岡委員、村山委員、内田委員、平光委員 (欠席者 河野委員、大木委員、斉藤委員、野島委員、高橋委員、木下(正)委員、木下(武)委員、清水委員、青木委員)
	志 木 市	(事務局) 新庁舎建設推進室 中村室長、山本主幹、田中主任 市民活動推進課 野口課長 建築課 浅見課長 成田主幹 政策推進課 松永課長
	コンサルタント	4名
	傍 聴 者	4名
配付資料	資料1 基本計画検討委員会【第2回 要旨記録】 資料2 新市民会館の基本方針、役割、施設構成(案)等 資料3 参考資料	

1. 開会

- (1) 今回から参加する平光委員の紹介
- (2) 欠席委員の紹介
- (3) 傍聴人入室について承諾

2. 第4回議事

(1) 本日の進め方

- ・ 委員長から、第4回次第に基づき本日の進め方について説明。
- ・ 事務局から本日の進め方等説明。
視察会参加へのお礼、複合化の意義、方針の確認。

(2) 会議要旨記録の確認について

- ・ 事務局から、志木市庁舎建設基本計画検討委員会【第2回 会議要旨記録】(資料1)に基づき説明。
- ・ 同会議要旨記録を市のホームページに掲載することについて、委員会の了解を得た。

(3) 新市民会館の基本方針、役割、施設構成(案)等

- ・ コンサルタントより、資料2に基づき説明。

(4) 意見交換、質疑

◆基本方針に関する意見

- 文化、芸術という言葉がやたらに出てくる。文化という言葉は特に曖昧なもので難しいので、もっと具体的な言葉にしてほしい。
- 文化という言葉の使い方は難しいという発言があったが、新市民会館の基本方針は、提示された内容で良いと思う。「志木市らしさ」が大事なキーワードになってくると思う。
- 10年後、20年後の先を見据えて計画していく事が望ましいと思う。

◆ホールに関する意見

- ホールに関しては、一流の芸術を呼び込んで、収益を上げていく必要があると思う。
- 志木市は土地が限られていて、そこから規模を考えていかなければならないと思う。強みを伸ばすのか、平均をとるのか。志木市は中途半端なイメージがあると思う。それはホールの600～800席の規模についてなど。用途を何かに特化しても良いと思う。志木の良さは学校でも敬老会でもひとつに集まるところだと感じている。今後は分けてやることも考えていくことになるのではないかな。
- 全体の規模に関する事が大きな議論になる。ホール規模を大きくすると、市民が利用しづらくなる場合や、規模を大きくしたが故に維持していくのが非常に大変になるということもたくさんある。
- 規模の問題より、市民が主体的に利用するのか、外の人が利用して市民が鑑賞するのか、という利用者目線の議論が非常に大事だと思う。
- 最近では全国的に小ぶりのホールを選択する傾向が強い。
- 現在のホールに関しても、機能が満足できるほど整っているわけではないので、造り変えるならちゃんとした機能を持ったホールが必要だと思う。
- ホールの資料をみると、25自治体が1000席以上。必要があっつつくっていることなので、大ホールと小ホールを作っている。一流の方の大ホールと市民が使いやすい小ホールが必要だと思う。
- 資料の意図としては、市の人口規模から算出したときのホール規模の目安となっている。使う立場で市民が利用しやすい規模や機能が必要なのであろう。市の象徴として大ホールを持つという時代ではなくなったように思う。
- 和光市や富士見市が持っているような1200席の大ホールと300～400席の小ホールが一番ちょうどいいのではないかなと思う。
- かつて劇団を呼んだことがある。800席を埋めるだけで相当苦労した。志木市民の立場から言えば、20分も電車に乗れば大きなホールに行け、本場のものを鑑賞できる。逆にこの立地に大きいホールを建てた時に周辺からはたして人が来るのかという疑問がある。
- 志木らしさをコンセプトにうまく表し、特色のある舞台にすれば興行的にうまくいくのではないかな。
- ホールで無駄だと思うのがホワイエ。そのホワイエも複合化した際は、展示場になったり日常

的な憩いの場になったりするのでもよく使えると思う。

◆会議室、多目的室等（ホール以外の用途）に関する意見

- ・ 市民会館の管理棟は、結婚式場としてかつてつくられているため、会議室やその他の目的で使用すると照明その他に問題が出ている。新しくできる施設は、その目的や機能に適した大きさや設備等を設けてもらいたい。
- ・ 和光、志木、新座、朝霞の会場は予約が取りづらいイメージがある。

◆新市民会館の機能に関する意見

- ・ 総合支援機能や情報交流機能などの新機能を充実させることが市民満足度を上げるのではないか。
- ・ 大型店ができる中で商工会議所の元気がなくなっているが、企業支援などの機能をいれることで街を活性化させたい。
- ・ いろは遊学館との機能の分担も大切なことだと思った。
- ・ いろは遊学館との機能の役割分担は別の話だと思う。施設機能を他の施設に分担するという考え方はおかしい印象がある。他に頼るのではなく、新市民会館が独自に成立するような大きさを持つべきである。
- ・ 役割分担は、現有のものを有効活用するという意味でとても大切なことだと思う。

◆視察会の印象・感想に関する意見

- ・ 視察会では大変参考になった。ギャラリーは常設で置いてある。非常に優れたホールがあった。アトリエがたくさんあった。それらの機能を実現するためにはスペースがある程度なければできないと感じた。限られた空間にぎゅうぎゅう詰めで建てる必要があるのか疑問を感じる。文化交流のためには大きく広い空間が必要になると思う。
- ・ 無理に小さくまとめたわけではなく、スペースを有効に使うという意味や、将来的な維持管理のしやすさなどを目標にもった上でコンパクトにとしている。
- ・ さいたま市のような政令指定都市で区政を実施しているような事例では、志木市と事情が違ふと思う。この敷地のスペースに市民会館が入ってくると、空間が小さくなってしまうと思う。
- ・ 視察会の目的として、あれと同じものを作ろうとして視察に行ったわけではないので、どの辺りを見るかというのは非常に大事なこと。

◆複合化に関する意見

- ・ 機能の融合が複合化だと思っている。市民会館と市役所を足し算すれば良い話ではなく、そもそも考え方が違うのではないか。
- ・ 視察会で、市役所と市民会館が融合することで相互作用が起きていることは、どちらの施設も確かに感じた。複合化の意味があることを改めて確認できた。

- ・ 先ほどの事務局からの複合化に関する説明では経済的な側面が強い印象があったが、実際には市民の利用、活動のメリットが非常に大きいと感じた。
- ・ 複合化のポイントは、行政機能と市民会館の機能と防災拠点としての機能が、それぞれオーバーラップしているところを増やそうということではないか。単純に市民会館だけの検討と違うのではないか。

◆資料、データに関する意見

- ・ この資料では複合施設という考え方が欠けていると思う。現況の市民会館の利用実態であって、市役所との複合化という考え方が反映されていないと思う。
- ⇒ (コンサル) まずは、新市民会館がどうあるべきかを固めて、庁舎と複合化した場合の考え方は次回に行く予定だった。ゆえに今回の資料は新市民会館を形作るための資料となっている。
- ・ 人口減少、市民活動団体の人数も減っている。今後10年、20年後にそのあたりの人口状況がどうなっているのかを示すデータが欲しい。
 - ・ マルイの上の施設や、他の施設の稼働率も知りたい。

3. その他

(1) 次回開催予定について

【日時】 1月14日(水) 15:00～

【場所】 市役所 301会議室

4. 閉会

以上